

B308		西洋音楽史	
英名科目名	History of Western Music		
大学名	京都市立芸術大学		
連絡先	教務学生課音楽教務担当 TEL:075-334-2222 FAX:075-334-2345		
担当教員	池上 健一郎(音楽学部 准教授)		
開講期間	2021年09月30日(木)～2022年01月13日(木) 1講時 09時00分～10時30分(毎週木曜日) 年内は12月16日まで 新年は01月06日から		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	木曜日 1講時
単位数	2	履修年次	1年次以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	100		
単位互換生定員		京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	毎回の小課題(50%)と学期末レポート(50%)により評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	入学金:28,200円 授業料:科 28,800円 聴 28,800円		
別途負担費用			
その他特記事項	Google Classroomを活用したオンライン授業。オンデマンド配信での授業動画を視聴し、その内容に関する小課題に期日までに答えるというサイクルで進めていきます。スマホでも不都合はないよう配慮していますが、PCかタブレットを準備しておいた方が学習はしやすいでしょう。		
パッケージ科目			
低回数受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
【授業目標】			
1) 西洋音楽史の流れを、当時の社会状況や思想と関連づけて理解すること。			
2) 各時代の作曲様式の特徴を把握すること。			
【授業概要】			
西洋音楽史の展開や作曲様式の変遷について、当時の社会状況や思想の潮流と関連づけながら講義する。指定の教科書に沿って進めてゆく。「西洋音楽史」では、18世紀後半から20世紀までを扱う。			
【履修上の注意】			
・教科書や参考文献をあらかじめ読んで上で授業に臨むこと。			
・授業で紹介できる作品には限りがあるので、NML(Naxos Music Library)を積極的に活用して自学に努めること。			
講義スケジュール			
第1回 西洋音楽における「古典」とは? / 古典派時代の音楽文化			
第2回 ハイドンとモーツァルトの音楽			
第3回 ベートーヴェンの音楽			
第4回 「ロマン主義」とは? / 19世紀前半のドイツ音楽			
第5回 19世紀前半のバリの音楽文化			
第6回 19世紀後半のドイツ音楽			
第7回 ナショナリズムの興隆と各国の音楽(1)			
第8回 ナショナリズムの興隆と各国の音楽(2)			
第9回 20世紀初頭の破壊と革新(1):パリ			
第10回 20世紀初頭の破壊と革新(2):ウィーン			
第11回 二つの世界大戦間の音楽			
第12回 第二次世界大戦後の音楽(1):ヨーロッパの諸潮流			
第13回 第二次世界大戦後の音楽(2):アメリカの実験音楽			
第14回 授業内試験			
第15回 まとめ・総評			
教科書	『音楽史を学ぶ - 古代ギリシャから現代まで』 (教育芸術社、久保田慶一)		
参考書	・『西洋音楽史 - 「クラシック」の黄昏』(中央公論新社、岡田暁生) ・『新西洋音楽史(中)(下)』(音楽之友社、グラウト/パリスカ)		